

寄贈品コーナー

博物館実習生による展示

「あるある漂着物」

2004年 9月16日～10月14日



実習生28名と鳳学芸員、浜口学芸員

今年も博物館実習の季節がやってきました。参加人数が総勢26校28名という、今までに類を見ない大人数となった今回の実習ですが、前半は例年通り考古・生物・地質・天文・民俗・歴史の各分野の担当学芸員による資料整理指導やフィールドワークを行い、当館で実施している漂着物を拾う会に参加してもらいました。以下は実習生の感想です。

初めて漂着物を拾う会に参加させていただいたのですが、既存の参加者の方々の熱意と知識量に圧倒され、また浜辺には思いもかけないほど多種多様なものが落ちているという事に驚きました。また、実習の最後を締めくくる寄贈品コーナーでの展示制作では4つの班に分かれ、漂着物を拾う会に参加して各々が集めた漂着物からそれぞれが感じた事を表現したのですが、同じ『漂着物』というテーマについてのはずなのに、展示の内容が環境問題だったり生態だったり様々で、人によってこれほどまでに着眼点が違うのかと感心しました。この展示制作を行うにあたり、今までのただ観るだけの視点とは違う、“作る側の”視点が身に付き、また展示制作の難しさと楽しさを、授業とは違う形で学べて良かったと思っています。

今回私達が作った展示を通して、平塚の海の現状をみなさまに知っていただけたら幸いです。

<展示紹介>

・海のおとしもの

川から、海から流れ着いた漂着物の出所に目を向けた展示を行っています。さらに様々な品物が置かれていますので、それらがどこからやってきたかを想像して楽しんで下さい。

・漂着教室

漂着物にはりついている貝のようなモノを見た事ありませんか？ここは、普段は何気なく見過ごしているそんな生物たちについて学べるコーナーです。カラフルな写真や模型などで、きっと彼らに詳しくなれる事でしょう。

・でっかい貝のオブジェ

環境問題をテーマとした、体験型の展示となっています。是非顔を近づけて、また手で触ってみて下さい。貝の上蓋に付いた沢山の貝殻の中から、説明パネルの中の貝を探してみるのも面白いですよ。

・色で見る漂着物

自然物と人工物の色の違いを、グラデーションを交えて表しています。

クイズ形式にもなっているので、色を楽しみながら是非チャレンジしてみてください。



展示の様子